

令和4年度 奨学金案内(在学募集・緊急募集)

# 奨学金申請事務の手引

高校・高専・専修学校高等課程

高等学校等担当者用

日頃から、当財団事業の円滑な推進につきまして、御理解と御協力をいただき、心から感謝申し上げます。

当財団では、勉学意欲がありながら経済的理由により修学が困難である高校生等に対して、奨学金等の貸与事業を行っています。

高等学校等在学生を対象に在学募集を行います。また、家計の急変による緊急募集も行います。推薦、取りまとめ等よろしくお願いいたします。

公益財団法人 福岡県教育文化奨学財団

目 次	ページ
令和4年度 高等学校等奨学金 予定表	1
募集区分による比較表	2
1 募集の種類	3
2 申込資格	3
3 申込書類及び申込方法	3
4 収入基準	4
5 貸与月額	4
6 貸与期間	4
7 併願・併給	5
8 手続の流れ（予定）	5
9 返還	6
10 貸与願書の記入例	7~12
11 高等学校専攻科について	13
12 専修学校高等課程について	13
13 特別支援教育就学奨励費支弁区分Ⅰ	13
14 在学募集日程	14
15 緊急募集日程	15
16 予約募集日程	16
17 在学募集推薦者名簿の作成	17~18
18 奨学金申請に係るQ&A	19~22
19 貸与願書チェックリスト	23
○各種様式	24
・奨学金等辞退届（様式11号）	
・奨学金出願辞退届（様式20号）	
・就職等申立書（様式21号）	
・給与等支給（見込）証明書（様式22号）	
・退職証明書（様式23号）	
・緊急募集に係る経費等内訳書（様式24号）	

※目次2～10までは別冊の「奨学金を希望するみなさんへ」と同じ内容です。

# 令和4年度 高等学校等奨学金 予定表

## 表の記号の見方

- … 願書受付開始
- … 願書受付終了
- △ … 採用決定
- … 初回振込日

日程	募集区分	予約募集	在学募集	緊急募集				備考
				第1回	第2回	第3回	第4回	
中学	7月	○						
	8月	↑						
	9月	●						
	10月							
	11月	△						
	12月							
	1月							
	2月							
3月								
高校等	4月		○	○				
			↓	↓				
	5月		●					
	6月	□(6/30)	△					
	7月		□(7/29)	●	○			第1回緊急募集締切 7月29日
	8月			△	↑			
	9月			□(9/30)				
	10月				↓	○		第2回緊急募集締切 10月31日
					●	↑		
	11月				△			
	12月				□(12/9)			
	1月					↓	○	第3回緊急募集締切 1月31日
					●	↑		
2月					△	□(3/1)		
					↓	○		
3月						●	第4回緊急募集締切 3月3日	
						△		
						□(3/31)		

※ ここに記載の日程は令和4年3月現在の予定です。

## 募集区分による比較表

	予約募集	在学募集	緊急募集																																																										
概要	中学3年時に高等学校等の奨学金を事前に申し込むもの	高等学校等在学時に申し込むもの	家計急変の事態が生じた時に申し込むもの																																																										
募集期間	中学3年時の7月上旬～中学3年時の9月上旬 (ただし、学校締切日は各学校により異なります)	4月上旬～5月上旬 (ただし、学校締切日は各学校により異なります)	随時(ただし、在学募集申請期間を除く。 なお、当該年度の受付締切日は3月1日)																																																										
種類	入学支度金 ・ 奨学金	奨学金	奨学金																																																										
申込要件	<p>○入学支度金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保護者が福岡県内に生活の本拠を有していること</li> <li>令和4年4月に、高等学校等への進学を希望していること(ただし、4月中の入学者に限る)</li> </ul> <p>※ただし、特別支援学校高等部及び専修学校高等課程を除く</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特に経済的理由により修学が困難であること</li> </ul> <p>○奨学金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保護者が福岡県内に生活の本拠を有していること</li> <li>令和4年4月に、高等学校等への進学を希望していること(ただし、4月中の入学者に限る)</li> <li>特に経済的理由により修学が困難であること</li> </ul>	<p>○奨学金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保護者が福岡県内に生活の本拠を有していること</li> <li>令和4年4月に、高等学校等に在学していること</li> <li>特に経済的理由により修学が困難であること</li> </ul>	<p>○奨学金</p> <p>1 家計急変</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保護者が福岡県内に生活の本拠を有していること</li> <li>令和4年4月に、高等学校等に在学していること</li> <li>家計の急変により修学が困難となったこと</li> <li>家計が急変した事由が発生したときから1年以内であること</li> </ul> <p>2 年度中途入学者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保護者が福岡県内に生活の本拠を有していること</li> <li>令和4年5月以降に、高等学校等に入学していること(ただし、転入学の場合は保護者が県外から転居した場合に限る。)</li> <li>特に経済的理由により修学が困難であること</li> </ul>																																																										
所得要件	<p>支度金 … 生活保護基準の1.0倍以下</p> <p>奨学金 … 生活保護基準の1.5倍以下</p> <p>(1.0倍以下及び1.5倍以下の方が選考対象となります)</p>	<p>奨学金 … 生活保護基準の2.4倍以下</p> <p>(2.4倍以下の方が選考対象となります)</p>	<p>奨学金 … 生活保護基準の2.4倍以下</p> <p>(2.4倍以下の方が選考対象となります)</p>																																																										
貸与金額	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>学校種別</th> <th>通学種別</th> <th>貸与額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">入学支度金</td> <td>公立</td> <td></td> <td>年額 50,000円</td> <td rowspan="2">入学時の1回のみ</td> </tr> <tr> <td>私立</td> <td></td> <td>年額 100,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">奨学金</td> <td rowspan="6">公立</td> <td rowspan="3">自宅</td> <td>月額 18,000円</td> <td rowspan="10">学校種別・通学種別に応じ、左記の3区分の中から貸与月額を選択できます。</td> </tr> <tr> <td>月額 15,000円</td> </tr> <tr> <td>月額 10,000円</td> </tr> <tr> <td>月額 23,000円</td> </tr> <tr> <td>月額 20,000円</td> </tr> <tr> <td>月額 15,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">私立</td> <td rowspan="2">自宅</td> <td>月額 25,000円</td> </tr> <tr> <td>月額 15,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">自宅外</td> <td>月額 10,000円</td> </tr> <tr> <td>月額 30,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>自宅外</td> <td>月額 20,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>月額 15,000円</td> </tr> </tbody> </table>	区分	学校種別	通学種別	貸与額	備考	入学支度金	公立		年額 50,000円	入学時の1回のみ	私立		年額 100,000円	奨学金	公立	自宅	月額 18,000円	学校種別・通学種別に応じ、左記の3区分の中から貸与月額を選択できます。	月額 15,000円	月額 10,000円	月額 23,000円	月額 20,000円	月額 15,000円	私立	自宅	月額 25,000円	月額 15,000円	自宅外	月額 10,000円	月額 30,000円		自宅外	月額 20,000円			月額 15,000円	<p>・平成27年4月以降に入学した者</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>学校種別</th> <th>通学種別</th> <th>貸与額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">公立</td> <td rowspan="3">自宅</td> <td>月額 18,000円</td> <td rowspan="10">学校種別・通学種別に応じ、左記の3区分の中から貸与月額を選択できます。</td> </tr> <tr> <td>月額 15,000円</td> </tr> <tr> <td>月額 10,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">自宅外</td> <td>月額 23,000円</td> </tr> <tr> <td>月額 20,000円</td> </tr> <tr> <td>月額 15,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">私立</td> <td rowspan="2">自宅</td> <td>月額 25,000円</td> </tr> <tr> <td>月額 15,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">自宅外</td> <td>月額 10,000円</td> </tr> <tr> <td>月額 30,000円</td> </tr> <tr> <td>月額 20,000円</td> </tr> <tr> <td>月額 15,000円</td> </tr> </tbody> </table>	学校種別	通学種別	貸与額	備考	公立	自宅	月額 18,000円	学校種別・通学種別に応じ、左記の3区分の中から貸与月額を選択できます。	月額 15,000円	月額 10,000円	自宅外	月額 23,000円	月額 20,000円	月額 15,000円	私立	自宅	月額 25,000円	月額 15,000円	自宅外	月額 10,000円	月額 30,000円	月額 20,000円	月額 15,000円
区分	学校種別	通学種別	貸与額	備考																																																									
入学支度金	公立		年額 50,000円	入学時の1回のみ																																																									
	私立		年額 100,000円																																																										
奨学金	公立	自宅	月額 18,000円	学校種別・通学種別に応じ、左記の3区分の中から貸与月額を選択できます。																																																									
			月額 15,000円																																																										
			月額 10,000円																																																										
		月額 23,000円																																																											
		月額 20,000円																																																											
		月額 15,000円																																																											
	私立	自宅	月額 25,000円																																																										
			月額 15,000円																																																										
		自宅外	月額 10,000円																																																										
			月額 30,000円																																																										
	自宅外	月額 20,000円																																																											
		月額 15,000円																																																											
学校種別	通学種別	貸与額	備考																																																										
公立	自宅	月額 18,000円	学校種別・通学種別に応じ、左記の3区分の中から貸与月額を選択できます。																																																										
		月額 15,000円																																																											
		月額 10,000円																																																											
	自宅外	月額 23,000円																																																											
		月額 20,000円																																																											
		月額 15,000円																																																											
私立	自宅	月額 25,000円																																																											
		月額 15,000円																																																											
	自宅外	月額 10,000円																																																											
		月額 30,000円																																																											
		月額 20,000円																																																											
		月額 15,000円																																																											
貸与期間	令和4年4月から卒業するまでの正規の修学期間	令和4年4月から卒業するまでの正規の修学期間	その事由が発生した月から正規の修学終了年月 (ただし、貸与開始月は令和4年4月より前には遡りません)																																																										
願書提出先	在籍中学校	在籍高等学校等	在籍高等学校等																																																										

## 1 募集の種類

当財団は、在学募集、緊急募集、予約募集を行っています。これらは募集区分が異なるだけで、奨学金としては同一のものです。

- (1) 在学募集 … 高等学校等在学時の4月上旬から5月上旬に申し込むものです。
- (2) 緊急募集 … 高等学校等在学時に家計急変の事態が生じた際、随時申し込むものです。
- (3) 予約募集 … 中学3年生時に高等学校等での奨学金貸与を事前に申し込むものです。

・奨学金として同一のものですから、既に予約募集で貸与が内定されている方が在学募集を申し込むことや、在学募集と緊急募集同時に申し込むことはできません。

## 2 申込資格

- (1) 在学募集（予約募集の内定者は申込みできません。なお、内定後辞退者は申込み可能）  
次の3項目のすべてに該当する場合、申し込むことができます。

①保護者が、福岡県内に生活の本拠を有していること。

②申込み時に、下記の学校に在学していること。

高等学校(全日制、定時制、通信制)、中等教育学校後期課程、高等専門学校、特別支援学校高等部、専修学校高等課程、高等学校専攻科、特別支援学校専攻科

- ・本人が他県の学校に在学の場合も申込みは可能です。
- ・新入生だけでなく、前年度からの在校生・2年生以上も申込み可能です。
- ・専修学校高等課程は当財団より承認を受けている専修高等学校の高等課程が対象となります。
- ・海上技術学校、高等技術専門学校等は対象外です。

③特に経済的理由により修学が困難であること。

- ・申込者の同一生計全員の収入合計額(年額)が生活保護基準の2.4倍以下です。

(4ページの4 収入基準を参照)

### (2) 緊急募集

ア 上記(1)の①、②、③に該当し、かつ1年以内に家計が急変した方

- ・「家計の急変」とは、家計を支えている方が、失職・破産・会社の倒産・病気・死亡または火災・風水害などにより家計が急変した場合をいいます。

イ 令和4年5月以降の入学者で、上記(1)①、②、③に該当する方。

- ・ただし、転入学の場合は保護者が県外から転居した場合に限ります。

※ 要件に該当するか分からない場合は、当財団にお問い合わせください。

## 3 申込書類及び申込方法

下記の書類を在学校の担当者に提出してください。

(所得証明書を含む添付書類は、受付後の返却はできませんので、予めご了承ください。)

### (1) 在学募集

①令和4年度奨学金貸与願書

②市区町村が発行する所得証明書(申込み時に取得できる最新のもの) ※源泉徴収票不可

- ・同一生計の18歳以上(学生を除く)の全員分(年金収入だけの人も含む)が必要です。無職や無収入の人も0円と記載された申告済みの所得証明書が必要です。
- ・申込者本人が独立生計である場合は、申込者本人の所得証明書が必要です。

③願書の「特に配慮してほしい家族の事情」欄に記載している事情(離職等)、がある場合は、その事情を確認できる書類(12ページ参照)

### (2) 緊急募集

上記(1)の①、②および家計急変の事情がわかる書類(12ページ参照)

## 4 収入基準

### (1) 収入基準額(同一生計の人数により算定)

- ・給与収入の世帯は控除前の給与支払金額を、給与収入以外の世帯は所得額を比較してください。  
〈生活保護基準の2.4倍〉

世帯の人員	給与収入の世帯	給与収入以外の世帯
2人世帯	5,208,528 円	3,726,400 円
3人世帯	6,410,880 円	4,686,400 円
4人世帯	7,762,872 円	5,886,585 円
5人世帯	8,470,872 円	6,523,785 円
6人世帯	9,779,064 円	7,829,064 円

※この表は就労所得者が世帯に1人のみの場合の基準額を示しています。

### (2) 加算額(同一生計の状況により加算)

次の場合は、当該加算額を上記基準額に加算し判断します。

- ① 2人目以降の就労所得者がいる場合 ----- 1人あたり 812,448 円加算  
就労者がいない場合----- 955,872 円減額
- ② 母子(父子)家庭で18歳以下の子が  
1人の場合----- 669,888 円加算  
2人の場合 ----- 722,880 円加算  
3人の場合 ----- 749,952 円加算
- ③ 障がい者がいる世帯 ----- 1人あたり 773,280 円加算

\*これらの加算額は、給与収入世帯の場合の金額です。給与収入以外の世帯については、おおむね70%の額を加算してください。

## 5 貸与月額(無利子)(在学募集・緊急募集共通)

- ・申込時に貸与金額を選択していただきます。
- ・下記の月額を3か月分まとめて年4回貸与します。

学校種別	通学	A	B	C
国・公立	自宅	18,000 円	15,000 円	10,000 円
	自宅外	23,000 円	20,000 円	15,000 円
私立	自宅	25,000 円	15,000 円	10,000 円
	自宅外	30,000 円	20,000 円	15,000 円

## 6 貸与期間

### (1) 在学募集

- ・令和4年4月から卒業するまでの正規の修学期間です。  
(例)全日制高校--- 3年、定時制高校--- 4年、通信制高校--- 4年(3年)、  
高等専門学校--- 5年

### (2) 緊急募集

- ・家計急変の事由発生日まで遡ることが可能ですが、令和4年4月が限度です。  
また、卒業するまでの正規の修学期間で貸与可能です。

### (3) 在学募集・緊急募集共通

- ・留年などによる貸与期間の延長はありません。  
また、過去に当財団の貸与を受けた期間は、今回の貸与期間から除算されます。
- ・貸与中に休学、退学する場合は、貸与の休止または停止を行います。

## 7 併願・併給 (在学募集・緊急募集共通)

- (1) 他の団体が実施する奨学金あるいは資金等を同時に申し込むこと(併願)については、差し支えありませんが、併給することはできません。(19ページ参照)
- (2) 高等学校等就学支援金、高校生等奨学給付金との併給はできます。
  - ①「高等学校等就学支援金」は、世帯収入が一定額未満の場合、支給を受けることができます。就学支援金は、授業料に充てられ、公立高等学校等は実質無償、私立高等学校等は軽減が図られます。
  - ②「高校生等奨学給付金」は、低所得世帯に対し、授業料以外の教育に必要な経費(修学旅行費、教科書費、教材費、学用品費、通学用品費、校外活動費、生徒会費、PTA会費、入学学用品費等)への支援を行うため支給されます。

## 8 手続の流れ(予定)

### (1) 在学募集

- 4月
- ・奨学金貸与願書等を在学学校へ提出してください。  
(5月上旬：各学校で取りまとめ当財団へ提出)  
(5月：当財団の審査)
- 6月
- ・当財団の選考委員会において奨学生を選考します。
  - ・在学学校を通じて結果を通知します。
  - ・決定者には、借用証書(用紙)を配付します。
- ※ 申請基準を満たしたとしても選考は予算の範囲内で行いますので、応募者全員が採用されるとは限りません。
- 6月下旬
- ・決定者は、借用証書、印鑑登録証明書(本人が18歳以上の場合は本人の分も必要)、本人の住民票、本人通帳名義の福岡銀行の通帳の写しを在学学校に提出してください。  
(7月上旬：各学校で取りまとめ当財団へ提出)  
(7月：当財団チェック)
  - ・辞退者は、辞退届を提出してください。
- 7月29日
- ・第1回(4月～6月分)の奨学金を貸与します。
  - ・奨学生本人の預金口座(福岡銀行)に入金します。
- 9月 9日
- ・第2回(7～9月分)貸与
- 12月 9日
- ・第3回(10～12月分)貸与
- 3月 1日
- ・第4回(1～3月分)貸与

※ 次年度以降は第1回：6月10日、第2回：9月10日、  
第3回：12月10日、第4回3月1日です。

※ 貸与予定日が土、日、祝日の場合は直前の平日に貸与します。

### (2) 緊急募集

願書は随時受付をしていますが、選考は年4回次の期間に分けて選考します。

	第1回	第2回	第3回	第4回
募集締切	7月29日	10月31日	1月31日	3月3日
選考結果通知	8月中旬	11月中旬	2月中旬	3月中旬
借用証書等提出	9月上旬	12月上旬	2月中旬	3月下旬
貸与	9月30日、 12月 9日、 3月 1日	12月 9日、 3月 1日	3月 1日	3月31日

- ・締切日時点で申請書類に不備不足があった場合は次回の選考となります。
- ・第4回の3月3日を過ぎた場合は、次年度の在学募集に申込みしてください。

## 9 返還(在学募集・緊急募集共通)

### (1) 返還義務

- この奨学金は、奨学生本人が借りる奨学金です。
- 卒業後は必ず返還する義務があります。連帯保証人も返還義務があります。
- この返還金は、直ちに後輩の奨学金として貸与する仕組みとなっております。約束どおり返還期限までに返還してください。

### (2) 返還方法

- 月賦払い(毎月)または半年賦払い(半年に一回)払いで、原則として口座振替により返還しなければなりません。
- 返還日は、月賦払いは毎月25日、半年賦払いは6月30日と12月15日です。  
(銀行休業日の場合は翌営業日)

### (3) 返還時期

- 卒業後(貸与終了後)6月経過後の6月または12月から返還開始になります。  
3月に卒業した場合は、12月から返還開始となります。

### (4) 返還期間

- 国公立学校は奨学金を借りていた期間の3倍、私立学校は4倍です。
- 貸与及び返還例① 公立高校、自宅通学で奨学金を毎月18,000円貸与の場合  
貸与  $18,000 \text{円} \times 12 \text{月} \times 3 \text{年} = 648,000 \text{円}$   
返還 毎月返還  $6,000 \text{円} \times 108 \text{回} (12 \text{月} \times 3 \text{年} \times 3 \text{倍}) = 648,000 \text{円}$   
\*約9年間、毎月、6,000円の返還が必要です。
- 貸与及び返還例② 私立高校、自宅通学で奨学金を毎月25,000円貸与の場合  
貸与  $25,000 \text{円} \times 12 \text{月} \times 3 \text{年} = 900,000 \text{円}$   
返還 毎月返還  $5,400 \text{円} + 6,300 \text{円} \times 142 \text{回} = 900,000 \text{円}$   
(1回目のみ)  
\*約12年間、毎月、約6,300円の返還が必要です。
- 半年賦(6か月まとめ)払いの方は、一回当たりの支払い金額が上記の約6倍です。

### (5) 返還猶予

- 大学等への進学あるいは傷病等により返還が困難となった場合には、届出により一定期間返還が猶予(先延ばし)することがあります。

### (6) 返還免除

- 奨学生本人の死亡、障がい等により就労できなくなった場合には、本人または連帯保証人からの届出により返還を免除することがあります。

### (7) 返還督促

- 返還期限までに返還されない場合は、本人や連帯保証人に対して、督促状の送付、当財団職員及び委託した債権回収会社による電話などにより督促します。
- また、督促を専門に行う滞納債権督促員が、自宅や勤務先を訪問して督促します。
- それらの督促によっても返還されない滞納者に対しては、裁判所に返還請求の申立てや債権回収会社への回収委託の実施や強制執行等の法的な手続を行います。
- 正当な理由がなく滞納となった場合は、返還すべき日の翌日から返還の日まで、年利3%の延滞利息が発生します。



## 10 貸与願書の記入例

貸与願書については、記入例を参考に生徒本人及び保護者が必要事項を漏れなく記入して在学学校担当者に提出してください。各項目の説明については次頁を参照ください。

※訂正がある場合は、2本線で修正の上、訂正印を押印してください。修正液は使用しないでください。

令和4年度奨学金貸与願書				学校受付番号									
				1									
公益財団法人福岡県教育文化奨学財団理事長 殿													
希望 種別	申し込み奨学金の種別の 口をチェックしてください。		<input checked="" type="checkbox"/> 在学募集 <input type="checkbox"/> 緊急募集	申込資格等は奨学金案内 を参考にしてください。									
申込者 (生徒本人自筆)	フリガナ	ハカタ ショウタロウ		生年月日									
	本人(生徒)氏名	博多 奨太郎		昭和 平成 18年 5月 29日									
	現住所	〒 812-8575 (電話番号 092 - 641 - 7326 ) 福岡市博多区東公園7番7号											
	在学学校名	福岡県立 東公園高等学校	入学年度	平成・令和 4年入学									
	課程名	全日制 定時制・通信制・専攻科・高等課程	学年	令和4年度 1年在学									
	卒業予定年月	令和 7年 3月卒業予定	残り修学年数 (貸与予定年数)	3年									
	貸与月額選択	<input checked="" type="checkbox"/> 自宅 A・B・C <input type="checkbox"/> 学生寮 A・B・C <input type="checkbox"/> その他		※ 貸与月額が選択されていない場合、 「自宅」区分の「A」を選択したものと します。									
保護者の住所	〒 812-8575 (電話番号 092 - 641 - 7326 ) 福岡県 福岡市博多区東公園7番7号												
同一生計の 家族状況	続柄	氏名	年齢	同居 別居	備考 学生は学校名及び学年を記入 令和4年3月卒業者はその旨記入	所得の種類 給与収入額 千円	その他所得額 千円						
	本人	上記のとおり											
	父	博多 奨	50	同居		3,484							
	母	博多 悦子	48	同居		0							
	兄	博多 渡	20	同居	奨学大学2年生	0							
	姉	博多 瑞穂	17	同居	東公園高校2年生	0							
合計						3,484							
※ 1 「奨学金を希望するみなさんへ」の記入例をよく読んで黒または青のボールペン記入してください。 2 年齢は令和4年4月1日現在で記入してください。 3 備考欄には、○小(中・高・大・専門学校・予備校等)学校○年生等就学状況を記入してください。 4 収入・所得の欄は、市町村発行の最新の所得証明書の金額を記入してください。													
※ 世帯人員等集計(上記家族状況欄と一致すること。) <table border="1"> <thead> <tr> <th>世帯人員</th> <th>母子(父子)家庭児童数</th> <th>障がい者数</th> <th>就労者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>						世帯人員	母子(父子)家庭児童数	障がい者数	就労者数	5	0	0	1
世帯人員	母子(父子)家庭児童数	障がい者数	就労者数										
5	0	0	1										
1 母子(父子)家庭児童数は母子(父子)家庭の18歳以下の児童数(年齢は令和4年4月1日現在で判断) 2 障がい者数は、障害者手帳(療養手帳)をお持ちの方の人数(手帳(※有効期限もしくは次回判定日記載)の写添付) 3 就労者数は、就労してある方の人数(年金収入のみの方を除く)													

## <奨学金貸与願書の記入要領>

※ 黒または青のボールペンを使って記入してください。消せるボールペンや時間の経過により字が消えるボールペンの使用は認められません。

- (1) 「学校受付番号」欄は、各学校の奨学金事務担当者が記入します。
- (2) 「希望種別」欄は、(□在学募集・□緊急募集)の種別をチェックしてください。
- (3) 「申込者」欄は、申込者は奨学金の貸与を受ける“生徒本人”ですので、この欄は、生徒本人が、必ず、全て、記入してください。

- ・生徒本人が 「本人(生徒)氏名」、「生年月日」、「現住所」、「在学学校名」、「入学年度」、「課程名」、「(令和4年度の)学年」、「卒業予定年月」、「残り修学年数」、「貸与月額選択」、「保護者の住所」欄を記入してください。
- ・「貸与月額選択」欄について
  - ・自宅から通学する方は、自宅□にチェックをしてください。
  - ・自宅外から通学する方は、(□学生寮・□その他)の該当するいずれかにチェックをしてください。
  - ・通学種別に応じて、希望する貸与月額(A・B・C)に○をつけてください。

学校種別	通 学	貸与月額選択区分		
		A	B	C
国・公立	自宅	18,000 円	15,000 円	10,000 円
	自宅外	23,000 円	20,000 円	15,000 円
私 立	自宅	25,000 円	15,000 円	10,000 円
	自宅外	30,000 円	20,000 円	15,000 円

※ 貸与額が多いものを選ぶと借入総額が多くなり、貸与終了(卒業等)後、返還する金額も多くなります。下の表のように国公立で9年間、私立で12年間、毎月または6か月ごと返還が必要です。

※ 選択にあたっては本人と保護者が返還についてよく相談して、希望する貸与月額を選択してください。

- ・貸与月額と3年間の借入総額と返還額

学校種別	通学	貸与月額		借入総額	月賦払い	半年賦払い	返還年数
		A	B				
国・公立	自宅	A	18,000 円	648,000 円	6,000 円	36,000 円	9年間
		B	15,000 円	540,000 円	5,000 円	30,000 円	9年間
		C	10,000 円	360,000 円	約 3,400 円	20,000 円	9年間
	自宅外	A	23,000 円	828,000 円	約 7,700 円	46,000 円	9年間
		B	20,000 円	720,000 円	約 6,700 円	40,000 円	9年間
		C	15,000 円	540,000 円	5,000 円	30,000 円	9年間
私 立	自宅	A	25,000 円	900,000 円	約 6,300 円	約 38,000 円	12年間
		B	15,000 円	540,000 円	約 3,800 円	約 23,000 円	12年間
		C	10,000 円	360,000 円	2,500 円	15,000 円	12年間
	自宅外	A	30,000 円	1,080,000 円	7,500 円	45,000 円	12年間
		B	20,000 円	720,000 円	5,000 円	30,000 円	12年間
		C	15,000 円	540,000 円	約 3,800 円	約 23,000 円	12年間

(4) 「同一生計の家族状況」欄

- ・住民票上の同居別居にかかわらず、実態として生徒と生計を同じくしている方について、記入してください。単身赴任や就学等のため一時的に別居していても、生計が同じであれば記入してください。

ア 「年齢」欄は、令和4年4月1日現在で記入してください。

イ 「同居別居」欄は、同居、別居を記入してください。

ウ 「備考」欄は、現在の状況を記入してください。

例1 小学校・中学校・大学・専門学校・予備校等に在学の場合

- ・現在中学1年生 「〇〇中学校1年生」と記入
- ・現在高校2年生 「〇〇高校2年生」と記入

例2 今年3月に高校、大学、専門学校等を卒業し就職した場合

- ・「令和4年3月高校（大学、専門学校等）卒業」と記入してください。
- ・市区町村発行の所得証明書は不要ですが、就職した会社から1年間の収入見込額を就職等申立書（様式21号）に記入・証明してもらい提出してください。

例3 今年3月に高校、大学、専門学校等を卒業し無職の場合

- ・「令和4年3月高校（大学、専門学校等）卒業 現在無職」と記入してください。
- ・市区町村発行の所得証明書は不要です。

オ 「所得の種類」欄

- ・この欄は、同一生計の家族の全員が給与所得のみである場合と、同一生計の家族の誰かが1人でも給与所得以外の所得がある場合で記入の仕方が異なります。

- ・所得証明書（取得可能な最新のもの）の金額（千円未満切り捨て）を記入してください。

① 全員が給与収入のみの世帯

- ・給与収入のみの世帯とは、賃金・報酬・賞与などを受取り、それにより生活している世帯のことです。

- ・給与収入のみの世帯の場合、所得証明書の収入金額を「給与収入額」欄に記入してください。

(例) 給与収入のみの場合

市県民税所得（課税）額証明書		貸与願書
氏 名	〇〇 〇〇	
住 所	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	
令和2年分 合計所得金額	円 ¥2,358,800	所得の種類
給 与	¥2,358,800	給与収入額
//////////		千円
給 与 収 入	¥3,484,214	3,484

⇒

② 給与収入以外の所得がある世帯

- ・給与収入以外の所得がある世帯とは家族の誰か1人でも給与所得以外の所得(営業所得、農業所得、雑所得等)がある世帯(自営業世帯など)のことです。
- ・給与収入以外の所得がある世帯の場合、所得証明書の各所得の合計額を「その他の所得額」欄に記入してください。

(例1) 営業等所得のみの場合

市県民税所得(課税)額証明書	
氏名	〇〇 〇〇
住所	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
令和2年分 合計所得金額	円 ¥1,729,988
営業等	¥1,729,988
//////	

  

貸与願書	
所得の種類	
その他の所得額	千円
	1,729

(例2) 複数の種類の所得がある場合

市県民税所得(課税)額証明書	
氏名	〇〇 〇〇
住所	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
令和2年分 合計所得金額	円 ¥820,864
給与	0
農業	30,000
雑	790,864
給与収入	¥40,000
年金収入	¥2,190,864

  

貸与願書	
所得の種類	
その他の所得額	千円
	820

- ・複数の種類の所得がある場合も、所得証明書の各所得の合計額を「その他所得額」欄に記入してください。例2の場合、「給与所得」、「農業所得」及び「雑所得」の合計額を記入してください。

○以下のどちらかになります。

- ・同一生計の家族全員が給与所得のみの場合  
→所得証明書の給与収入額を家族毎に記入し、その後家族全員分を合計
- ・同一生計の家族の誰か1人でも給与所得以外の所得がある場合  
→所得証明書の合計所得金額を家族毎に記入し、その後家族全員分を合計

(5) 「世帯人員等集計」欄

- ・「世帯人員」欄は、本人を含め上記の家族の人数を記入してください。
- ・「母子(父子)家庭児童数」欄は、母子(父子)家庭で18歳以下(令和4年4月1日現在)の人数を記入してください。
- ・「障がい者数」欄は、障がい者手帳をもしくは療育手帳をお持ちの方の人数を記入してください。手帳の写し(有効期限もしくは次回判定日記載)を提出してください。
- ・「就労者数」欄は、就労している方(年金収入のみの方を除く)の人数を記入してください。

○特に配慮してほしい家族の事情

- ・最新の所得証明書に比して、収入の減少等、特に配慮して欲しい家族の事情がある場合は、必ず所得証明書の他に事実の確認ができる書類を添付してください。

「特に配慮してほしい家族の事情」及び「添付書類」の具体例

- ・収入が減少した場合 → 対象者の給与等支給(見込)証明書(様式22号)
- ・退職して現在無職 → 対象者の離職票(写)、雇用保険受給資格者証(写)、退職証明書(様式23号)のうちいずれか1つを添付のうえ、願書(表面)備考欄に「現在無職」と記入
- ・退職して現在有職 → 対象者の就職等申立書(様式21号)を添付

※ 添付書類がない場合は、提出されている書類で選考を行いますのでご注意ください。

(6)

緊急募集の場合は記入してください。(在学募集の場合は記入の必要はありません。)

家計急変の事由 (該当する項目を○ で囲むこと、複数 選択可)	ア. 家計支持者の離職	キ. 事故・病気(6月以上)による支出増又は収入減
	イ. 家計支持者の死亡	ク. 会社倒産・経営不振による著しい収入減
	ウ. 家計支持者の離別	ケ. 自然災害により著しく支出増又は収入減
	エ. 家計支持者の破産	コ. 他県奨学生が保護者の転居により貸与停止
	オ. 災害救助法適用者	サ. その他収入激減等
	カ. 年度中途入学者	

※ 緊急募集に申込みれる場合は、家計急変の事由及び諸証明書類の添付が必要です。

事由の生じた年月	令和 年 月 (年度中途入学は入学年月)
希望する貸与始期	令和 年 月 (事由発生月までさかのぼり可能。ただし令和4年4月が限度)

(7)

以上のとおり記載事項に相違ありません。貴財団の奨学生として採用されるようお願いいたします。

なお、採用されたときは、奨学生としての自覚を持ち勉学に励むとともに、貴財団の貸与規程を遵守し、奨学金の返還等に誠実に義務を履行します。

令和 4 年 4 月 10 日

生徒氏名

博多 奨太郎

連帯保証人名(親権者又は後見人)  
(続柄)

博多 奨  
(父)

公益財団法人 福岡県教育文化奨学財団理事長 殿

※ 生徒と連帯保証人はそれぞれ自筆で署名してください。

※ 所得証明書を含む添付書類は、受付後の返却はできませんので、あらかじめご了承ください。

### 奨学生推薦調書

特に配慮すべき事情がある場合は記入してください。

上記生徒を貴財団の奨学生として適当と認め推薦します。

令和 年 月 日

学校長

職印  
又は署名

公益財団法人 福岡県教育文化奨学財団理事長 殿

※ 学校長の推薦(職印又は学校長の署名)のない願書は受付できません。

(9)

※ 訂正がある場合は、2本線で修正の上、訂正印を押印してください。  
修正液は使用しないでください。

**(6) 「特に配慮してほしい家族の事情」欄**

- 所得証明書からは分からない家計の急変等事情(転職、失業、経営不振による賃金カット等)がある場合は、その対象者の事情のわかる書類を添付してください。添付書類がない場合は、既に提出されている書類をもって選考を行います。

添付書類の例

収入が減少した	給与等支給(見込)証明書(様式22号)
退職して現在無職	離職票(写)、雇用保険受給資格者証(写)、退職証明書(様式23号)のうち、いずれか1つを添付のうえ、願書(表面)備考欄に「現在無職」と記入
退職して現在有職	就職等申立書(様式21号)を添付

**(7) 緊急募集で申込み場合は必ず記入してください。**

- ア 「家計急変の事由」 → 該当する事由を○で囲んでください。(複数選択可)
- イ 「事由の生じた年月」 → 事由の生じた年月を記入してください。  
(ただし、事由発生日を証明する書類が必要です。)
- ウ 希望する貸与始期 → 貸与を開始する希望月を記入してください。  
※ 事由発生日まで遡ることが可能ですが、令和4年4月が限度です。

緊急募集の添付書類の例

事情(事由)	必要な書類	提出書類の具体例
退職(離職を含む)	退職を証明する書類	<ul style="list-style-type: none"> <li>退職証明書(様式23号)</li> <li>離職票(写)</li> <li>雇用保険受給資格者証(写)</li> </ul>
就職	就職後1年間の収入額を証明する書類	<ul style="list-style-type: none"> <li>就職等申立書(様式21号)</li> <li>給与等支給(見込)証明書(様式22号)</li> </ul>
収入減	収入が減額したことを証明する書類	<ul style="list-style-type: none"> <li>給与等支給(見込)証明書(様式22号)</li> </ul>
両親の離別	両親の離別を証明する書類	<ul style="list-style-type: none"> <li>戸籍謄(抄)本</li> </ul>
家計支持者の破産	破産を確認できる書類	<ul style="list-style-type: none"> <li>免責決定通知書</li> </ul>
家計支持者の死亡	死亡を確認できる書類	<ul style="list-style-type: none"> <li>戸籍謄(抄)本</li> </ul>
他都道府県奨学生が保護者の転居により貸与停止	その事実を証明する書類	<ul style="list-style-type: none"> <li>他都道府県の貸与証明書 (ただし、都道府県が関与した制度に限ります。)</li> </ul>
年度中途入学者	その事実を証明する書類	<ul style="list-style-type: none"> <li>入学証明書(任意様式)</li> </ul>
長期療養(6月以上) 罹災	その事実を証明する書類	<ul style="list-style-type: none"> <li>緊急募集に係る経費等内訳書(様式24号)</li> <li>領収書(写)や罹災証明書(写)等、その事実がわかるもの。</li> </ul>
その他の事由	その他事実を証明する書類	事由により異なる

**(8) 「生徒氏名、連帯保証人名(親権者又は後見人)」署名欄**

- 日付は願書の学校提出日を記入してください。
- 生徒欄は生徒本人が自筆で署名し、連帯保証人欄は連帯保証人になる方が自筆で署名してください。
- 申請日現在、生徒本人が成年(18歳以上)である場合、連帯保証人は父母に限りません。

**(9) 「奨学生推薦調書」欄**

- ※令和4年4月1日現在の学校長の推薦により記入押印をお願いします。
- この欄は、当該生徒について特に配慮してほしい事情等があれば記入してください。必須記入欄というわけではありませんので、無記入でも生徒の選考に影響を及ぼすことはありません。職印押印日又は学校長の署名日の日付と、学校名、校長氏名を記入し、職印又は学校長の署名をお願いします。

## 1.1 高等学校専攻科について

- ・高等学校看護科など一部の学校においては、本科(3年)と専攻科(2年)とを併設している場合があります。当財団では、本科と専攻科はまったく別の修学課程とみなしていますので、本科1年生の貸与期間は3年間となります。
- ・専攻科で引き続き貸与を希望する場合は、専攻科への進学時に改めて在学募集に申し込んでいただく必要がありますので、生徒へのご案内をお願いします。

## 1.2 専修学校高等課程について

### (1) 貸与について

- ・高等学校と高等課程は修学課程が重複しますので、過去高等学校において貸与を受けていた方は申請できない場合もあります。  
また、過去に当財団から貸与を受けた期間は、今回の貸与から除算されます(ただし、既貸与額を全額返還した方は除きます)。

(例1)過去に高等学校で3年間奨学金を貸与している方

→ 高等課程の正規の修学期間である2年間を超過しているため申請不可

(例2)過去に高等学校で6か月間奨学金を貸与している方

→ 高等課程の正規の修学期間である2年間を超過していないため申請可

※ただし、既貸与月数を除いた月数になります。

### (2) 対象校について

- ・専修学校(高等課程に限る)が当財団の対象校となるには、事前に申請書により申請いただき、当財団より承認を得る必要があります。
- ・新規に当財団の対象校となることを希望する専修学校は、「専修学校高等課程申請書」に「専修学校設置許可証の写(原本証明要)」、「学則の写」及び「入学案内」を添付して、奨学金の申込み以前に当財団へ提出をお願いします。
- ・なお、旧日本育英会(現日本学生支援機構)で専修学校(高等課程に限る)の対象校となっていた場合、及び旧日本育英会では対象校ではなかったが、その後当財団より対象校として承認を得た場合は再度申請する必要はありません。

## 1.3 特別支援教育就学奨励費支弁区分Ⅰ

- ・当財団の実施する奨学金は、都道府県・市町村及びこれらが所管する公益法人等が実施する同様の奨学金と併給することはできません。特別支援教育就学奨励費の支弁区分Ⅰに該当する方についても、その就学に係る費用負担割合との関係から、就学奨励費を「同様の奨学金」とみなします。
- ・特別支援教育就学奨励費の支弁区分の決定は毎年度7月頃となりますので、当財団の奨学金の第1回目の貸与は、支弁区分決定後の9月とします。
- ・予約募集の内定者および在学募集の決定者のうち、支弁区分がⅠとなった方については、すみやかに奨学金の辞退届(様式11号)を提出するようご指導をお願いします。

## 1.4 在学募集日程

- 当財団では、奨学金を希望する生徒のうち、学校長から推薦をいただいた方を奨学生として選考しています。下記の要領により提出をお願いします。

### (1) 財団受付 郵送(特定記録) 令和4年5月10日(火)(必着)

- 在学で取りまとめ、内容を確認のうえ在学募集推薦者名簿を作成し財団へ提出ください。貸与願書チェックリストを活用ください。
  - ①令和4年度 奨学金貸与願書  
願書の「奨学生推薦調書」欄に学校長の押印等をお願いします。
  - ②世帯全員の所得証明書(申込時に取得できる最新のもの 市町村発行)
  - ③特に配慮してほしい家族の事情を確認できる書類  
個人ごとに①～③をまとめ、学校受付番号順に並べてください。
  - ④令和4年度 在学募集推薦者名簿(紙媒体及びデータをメールで送信)

### (2) 選考結果を財団から各学校へ郵送 令和4年6月

- 当財団の選考委員会において選考します。  
申請基準を満たしたとしても、応募者全員が採用されるとは限りません。
- 郵送書類
  - 各学校選考結果一覧表
  - 本人選考結果通知
  - 借用証書用紙
- メール送付
  - 奨学金振込口座情報調査

- 各学校から本人へ選考結果通知を配付してください。
- また、採用決定者には借用証書用紙、本人から下記(3)に間に合うように借用証書等を提出させてください。
- 採用決定した奨学生名を記載した奨学金振込口座情報調査を各学校へメールします。

### (3) 借用証書等の提出 令和4年7月上旬締切予定

- 在学で取りまとめ(内容確認)のうえ財団へ提出してください。
  - ①借用証書
  - ②生徒本人の福岡銀行預金通帳の表紙裏面コピー
  - ③印鑑登録証明書(連帯保証人)
  - ④生徒本人の住民票  
①、②、③、④を財団へ郵送ください。
  - ⑤奨学金振込口座情報調査  
上記(2)で送信しました奨学金振込口座情報に各人の口座番号等を記入のうえ、財団へメールを送付してください。
- 辞退者は、辞退届を提出してください。

### (4) 奨学金の振込

- 7月29日
  - 第1回(4月～6月分)の奨学金を貸与します。
  - 奨学生本人の預金口座(福岡銀行)に入金します。
- 9月9日
  - 第2回(7～9月分)貸与
- 12月9日
  - 第3回(10～12月分)貸与
- 3月1日
  - 第4回(1～3月分)貸与
- ※ 次年度以降は、第1回6月10日、第2回9月10日、第3回12月10日、第4回3月1日です。
- ※ 貸与予定日が土、日、祝日の場合は直前の平日に貸与します。



## 15 緊急募集日程

(1) 財団受付 郵送(特定記録) 随時受付をしています。

- 在学校で取りまとめ、内容を確認のうえ、財団へ提出ください。  
貸与願書チェックリストを活用ください。
  - ①令和4年度 奨学金貸与願書  
願書の「奨学生推薦調書」欄に学校長の押印等をお願いします。
  - ②世帯全員の所得証明書(取得できる最新のもの 市町村発行)
  - ③家計急変の事由を確認できる書類  
個人ごとに①～③をまとめ、学校受付番号順に並べてください。
- \* 推薦者名簿の提出は必要ありません。

(2) 選考結果を財団から各学校へ郵送

申請基準を満たしたとしても、応募者全員が採用されるとは限りません。

- 郵送書類
- 各学校選考結果一覧表
  - 本人選考結果通知
  - 借用証書用紙

- 各学校から本人へ選考結果通知を配付してください。
- また、採用決定者には借用書用紙、本人から下記(3)に間に合うように借用証書等を提出させてください。

(3) 借用証書等の提出

- 在学校で取りまとめ(内容確認)のうえ財団へ提出してください。
  - ① 借用証書
  - ② 生徒本人の福岡銀行預金通帳の表紙裏面コピー
  - ③ 印鑑登録証明書(連帯保証人)
  - ④ 生徒本人の住民票
- ①、②、③、④を財団へ郵送してください。

(4) 緊急募集

願書は随時受付をしています。選考は年4回次の期間に分けて選考します。

	第1回	第2回	第3回	第4回
募集締切	7月29日	10月31日	1月31日	3月3日
選考結果通知	8月中旬	11月中旬	2月中旬	3月中旬
借用証書等提出	9月上旬	12月上旬	2月中旬	3月下旬
貸与	9月30日、 12月9日、 3月1日	12月9日、 3月1日	3月1日	3月31日

- 締切日時点で申請書類に不備不足があった場合は次回の選考となります。
- 第4回の3月3日を過ぎた場合は、次年度の在学募集に申込みしてください。

## 16 予約募集日程

- 予約募集は、前年の7～8月に市町村教育委員会・中学校を通じて募集し、9月に財団に提出後、11月に採用の内定通知を行っています。
- 1月中旬に中学校を通じて、①入学支度金誓約書、②振込先口座調査、③奨学金貸与月額選択届を配付し、①・②と生徒名義の福岡銀行口座の写しを提出させ、3月末日に入学支度金を貸与(本人口座に振込)しています。
- ③奨学金貸与月額選択届については、高校等に進学後に進学先に提出するよう指導しています。
- また、中学校に対し入学予定学校名調査を実施しているところです。

(1) 予約募集の内定者の入学確認文書を財団から高校等へ郵送 3月末  
郵送書類 ・ 奨学金予約募集内定者の入学者確認一覧表

(2) 入学者確認一覧表を財団へ郵送 4月中旬締切予定

- 予約募集内定者から奨学金貸与月額選択届(中学校を通じて本人に配付済み)を回収し、貸与月額を調査表に記入し財団へ提出してください。
- 奨学金貸与月額選択届は財団へ提出せず、進学先の学校にて保管。
- 辞退者は、辞退届を提出してください。

(3) 借用証書用紙等を財団から各学校へ郵送 5月中旬  
郵送書類 ・ 借用証書用紙

- 各学校から本人へ借用証書用紙、本人から下記(4)に間に合うように借用証書等を提出させてください。

(4) 借用証書等の提出 6月中旬

- 在学校で取りまとめ(内容確認)のうえ財団へ提出してください。
  - ① 借用証書
  - ② 印鑑登録証明書(連帯保証人)
  - ③ 住民票①、②、③を財団へ郵送してください。

(5) 奨学金の振込

6月30日 ・ 第1回(4月～6月分)の奨学金を貸与します。  
奨学生本人の預金口座に入金します。

9月 9日 ・ 第2回(7～9月分)貸与

12月 9日 ・ 第3回(10～12月分)貸与

3月 1日 ・ 第4回(1～3月分)貸与

※ 次年度以降は、第1回6月10日、第2回9月10日、第3回12月10日、  
第4回3月1日です。

※ 貸与予定日が土、日、祝日の場合は直前の平日に貸与します。

# 17 在学募集推薦者名簿の作成

学部 課程名	受付 番号	氏名	フリガナ	生年月日				性別	入学年度		残り 修業 年数
				暦	年	月	日		暦	年	
全日制	1	博多 奨太郎	ハカタ ショウタロウ	平成	18	5	29	男	令和	4	3

  

**令和4年度奨学金貸与願書**

学校受付番号 1

公益財団法人福岡県教育文化奨学財団理事長 殿

希望 申し込み奨学金の種別の  **在学募集** 申込資格等は奨学金案内  
 種別  をチェックしてください。  **緊急募集** を参考にしてください。

申込者 (生徒本人自筆)	フリガナ	ハカタ ショウタロウ	生年月日	昭和 平成	18	5	29	日
	本人(生徒)氏名	<b>博多 奨太郎</b>						
	現住所	〒812-8575 (電話番号 092-641-7326) 福岡市博多区東公園7番7号						
	在学学校名	福岡県立 東公園高等学校	入学年度	平成・令和	4	年	入学	
	課程名	<b>全日制</b> 定時制・通信制・専攻科・高等課程	学年	令和4年度	1	年	在学	
	卒業予定年月	令和 7 年 3 月卒業予定	残りの修学年数 (貸与予定年数)	3 年				

貸与月額選択  自宅 **A** ・ B ・ C ※ 貸与月額が選択されていない場合、「自宅」区分の「A」を選択したものとします。  
 学生寮  自宅外  その他 A ・ B ・ C

保護者の住所 〒812-8575 (電話番号 092-641-7326) 福岡県 福岡市博多区東公園7番7号

	続柄	氏名	年齢	同居 別居	備考 学生は学校名及び学年を記入 令和4年3月卒業者はその旨記入	所得の種類	
						給与収入額 千円	その他所得額 千円
同一生計の家族状況	本人	上記のとおり					
	父	博多 奨	50	同居		3,484	
	母	博多 悦子	48	同居		0	
	兄	博多 渡	20	同居	奨学大学2年生	0	
	姉	博多 瑞穂	17	同居	東公園高校2年生	0	
	合計					3,484	

※ 1 「奨学金を希望するみなさんへ」の記入例をよく読んで黒または青のボールペン記入してください。  
 2 年齢は令和4年4月1日現在で記入してください。  
 3 備考欄には、〇〇小(中・高・大・専門学校・予備校等)学校〇年生等就学状況を記入してください。  
 4 収入・所得の欄は、市町村発行の最新の所得証明書の金額を記入してください。

※ 世帯人員集計(上記家族状況欄と一致すること)

世帯人員	母子(父子)家庭児童数	障がい者数	就労者数
5	0	0	1

1 母子(父子)家庭児童数は母子(父子)家庭の18歳以下の児童数(年齢は令和4年4月1日現在で判断)  
 2 障がい者数は、障害者手帳(療養手帳)をお持ちの方の人数(手帳(※有効期限もしくは次回判定日記載)の写添付)  
 3 就労者数は、就労してある方の人数(年金収入のみの方を除く)

通学 区分	貸与 月額 選択	給与収入	その他 所得	世帯 人数	母子(父 子)家庭 児童数	障がい 者数	就労 者数
自宅	A	3,484		5	0	0	1

## (1) 入手方法

当財団ホームページ(<http://ecs-pref-fukuoka.or.jp>) 又は “公益財団法人福岡県教育文化奨学財団 福岡支所” で検索にて、ダウンロードしてください。書式の変更はしないでください。

(2) 入力のしかた

ア 学校コード

「学校コード一覧表」を参照し「半角」で入力

推薦者名簿右上の学校コードを一箇所入力すれば、残りのコードは自動入力されます。

イ 学校名

自動入力

ウ 課程名

セルをクリックすると▼ボタン(プルダウンメニュー)が出るので該当する課程を該当する課程名から選択。課程名…全日制・定時制・通信制・専攻科・高等課程

エ 受付番号

自動表示されますので、願書右上の学校受付番号欄に該当の番号を記入してください。

オ 氏名

願書に記載してある申込者(生徒)氏名を全角で入力

カ フリガナ

願書に記載してある申込者(生徒)氏名のフリガナを半角カタカナで入力

キ 生年月日

生年月日を以下の方法で入力してください。

暦(和暦)→▼ボタン(プルダウンメニュー)から選択

年 →2桁の数字を入力

月 →▼ボタン(プルダウンメニュー)から選択

日 →▼ボタン(プルダウンメニュー)から選択

ク 性別

プルダウンメニューから「男」、「女」のいずれか選択

ケ 入学年度

入学年度を2桁の数字を入力

コ 残り修学年数

セルをクリックすると▼ボタン(プルダウンメニュー)が出るので該当する年数を選択  
入力する値は令和4年4月から卒業までの年数(1年未満の端数は切り上げ)

(例) 全日制の1年生 … 「3」

全日制の2年生 … 「2」

全日制の3年生 … 「1」

定時または通信制の1年生 … 「3」または「4」

高等専門学校の1年生 … 「5」

修業年数が5年半の高等専門学校の1年生 … 「6」

サ 通学区分

セルをクリックすると▼ボタン(プルダウンメニュー)が出るので該当する通学区分を選択  
通学区分 … 自宅・自宅外

※願書に学生寮・その他のいずれかが選択されている場合は、自宅外を入力

シ 貸与月額選択

セルをクリックすると▼ボタン(プルダウンメニュー)が出るので該当する貸与月額を選択

ス 給与収入・その他所得

願書に記載してある金額を「半角」で入力

セ 世帯人数・母子(父子)家庭児童数・障がい者数・就労者数

願書に記載してある人数を「半角」で入力

ソ 備考

卒業月が3月でない生徒については、卒業年月を備考欄に入力してください。

(例) 願書卒業予定年月日欄 名簿備考欄

令和7年9月卒業予定 → 令和7年9月卒

**\*入力上の注意点**

セル内の文字が全て表示できない場合は、セル内で改行して全て表示してください。

## 18【奨学金申請に係るQ&A】

当財団の奨学金の申込みに際して、今までの質問が多かった項目について、Q&A形式にまとめてみましたので参考にしてください。

### I 併願併給について

Q1 他の奨学金制度との併願、併給はできますか？

A1 他の団体が実施する奨学金あるいは資金等を同時に申し込むこと(併願)については、差し支えありませんが、併給することはできません。併給できないものは、次のとおりです。

①貸与(給付)金額にかかわらず、併給ができないもの

- ・母子父子寡婦福祉資金
- ・定時制課程及び通信制課程修学奨励金
- ・特別支援教育就学奨励費支弁区分Ⅰ
- ・福岡市教育振興会奨学金及び北九州市奨学金

②貸与(給付)金額が同程度の場合に併給ができないもの

- ・都道府県、市町村及びこれらが所管する公益法人等が実施する同様の奨学金あるいは資金等
- ・独立行政法人日本学生支援機構奨学金
- ・生活福祉資金
- ・交通遺児育英会奨学金
- ・あしなが奨学金
- ・その他の奨学金(各学校独自の奨学金制度を含む)

※「貸与金額が同程度」とは、当財団で選択している月額にかかわらず、下表の学校種別・通学種別に応じた月額以上の場合です。

学校種別	通学種別	貸与額	学校種別	通学種別	貸与額
国・公立	自宅	18,000円	私立	自宅	25,000円
	自宅外	23,000円		自宅外	30,000円

- ・市町村単独の特別事業等一時金的なものや、額が少額なものの併給までは可能です。
- ・日本政策金融公庫の教育ローン、学校における授業料免除制度については、奨学金制度ではないので、制度の併用は可能です。
- ・奨学金の金額が年額である、算定の基礎が明確でない等判断に迷う場合は併用の可否を当財団までお問い合わせください。

※ 当財団の奨学金と、併願していた同程度の奨学金等について採用が決定した場合には、いずれか一方を辞退していただく必要があります。  
なお、当財団の奨学金を辞退される場合は、別紙の「辞退届」(様式11号)を在学学校経由で提出してください。

### II 保護者について

Q2 保護者は必ず県内居住者でなければなりませんか？

A2 保護者の生活の本拠地が福岡県内でなければなりません。単身赴任で家計支持者が一時的に県外で生活している場合は問題ありません。また、保護者が県内居住者であれば、生徒本人が県外の高校に通学していても差し支えありません。

Q3 連帯保証人は必ず保護者(父母)でなければいけませんか？

A3 親権者又は後見人でなければなりません。  
ただし、申請日現在生徒本人が18歳以上である場合、連帯保証人は父母に限りません。

### Ⅲ 所得証明書について

Q4 提出書類のうち、所得証明書は源泉徴収票をもって代えることは可能ですか？

A4 不可です。給与収入の他に事業収入等があった場合に、源泉徴収票ではその内容の確認がとれないので、必ず市町村発行の所得証明書を提出してください。

Q5 母親は専業主婦なので収入がありません。証明書は必要ですか？

A5 必要です。市町村役場の課税担当課で申告を行い、税務担当課で所得証明書を発行してもらってください。収入がないことの証明が必要です。

Q6 収入がない場合の証明書は、市町村発行の非課税証明書でも構いませんか？

A6 原則として市町村発行の所得証明書が必要です。ただし、非課税証明書でも、収入額が0円との記載がある場合は差し支えありません。

Q7 今年になって再就職（転職）をしました。所得証明書は前の会社の収入内容ですが、どうしたらよいでしょうか？

A7 現在の就労先から就職等申立書(様式21号)を発行してもらって提出してください。なお、この場合も市町村発行の所得証明書は提出の必要があります。

また、退職して現在無職の場合や収入が減少した場合は、貸与願書の裏面の「特に配慮してほしい家庭の事情」欄を参考にしてください。

退職して現在無職の場合は離職票(写)、雇用保険受給者資格者証(写)、退職証明書(様式23号)のいずれか1つを、収入が減少した場合は給与等支給(見込)証明書(様式22号)も提出ください。

Q8 本年3月に高校を卒業した兄弟がいます。現在は無職ですが、所得証明書は必要でしょうか？

A8 必要ありません。ただし、貸与願書の備考欄に「令和4年3月高校卒業(現在無職)」と記入してください。

また、令和4年3月に高校を卒業した兄弟が、4月より就職して、生計を同じくしている場合には、貸与願書の備考欄に「令和4年3月高校卒業」と記載して、就職等申立書(様式21号)を提出してください。

なお、この場合も、兄弟の所得証明書は必要ありません。

※ 卒業した学校が、大学、専門学校、予備校等の場合も、上の例と同様に貸与願書の備考欄に記載してください。

Q9 退職証明書等、事情により事業主の証明印がもらいにくいものもあるが、諸証明について事業主の証明印は必要でしょうか？

A9 必要です。

奨学金の申込みにあたっては、市町村発行の所得証明書を必ず提出していただきます。これは、その世帯の前年の収入状況を、公的機関の証明する書類をもって、特に事情が無い限り本年もほぼその収入状況が続くとみなして選考するためです。

退職証明書や給与等支給(見込)証明書は、実際の収入状況が所得証明書の記載内容と異なるものであるとの申立てですから、事業主等第三者の証明が必要です。そのため、証明に当たっては、代表者の証明印(公印)が必要です。

## IV 採用等について

Q10 申込では基準内の収入ですが、必ず奨学金の貸与を受けられますか？

A10 在学募集及び緊急募集の要件として特に経済的理由により修学が困難であることが条件であり、その「特に経済的理由により修学が困難であること」とは、申込者の同一生計全員の収入合計額が生活保護基準の2.4倍以下であります。この基準は採用の基準ではなく、あくまで申込みができるかどうかの基準です。

採用については、当年度の予算の範囲内で行いますので、生活保護基準の2.4倍以下を満たしている場合においても、申請者の方全員が採用されるとは限りません。ご了承ください。

Q11 高校にある寮に入る場合、自宅外の金額の貸与が受けられますか？

A11 どのような状態を自宅外と認めるかは個々の事情によりますが、在学の方針として入寮が強制である場合や、交通手段の関係から自宅からの通学が困難で下宿している場合等であれば、自宅外の本額の貸与が受けられます。

「在学の方針や交通による通学の困難ではなく、個人的な理由でアパートを借りている」、「単に高い金額の貸与を受けたいから」というだけでは、自宅外の本額の奨学金の貸与を受けることはできません。

Q12 専修学校高等課程や専攻科に進学した際、注意することはありますか？

A12 専修学校高等課程に進学した場合、在学募集や緊急募集に申込みできますが、既に当財団の奨学金を借りていれば、その借りた期間は今回の貸与期間から除算されます。

また、専攻科に進学した際、専攻科でも奨学金を希望される方は、新たに在学募集に申込みする必要があります。

## V 緊急募集について

Q13 緊急募集において、「家計の急変により申込者の同一生計の収入合計額が生活保護基準の2.4倍以下となった場合」の具体例を教えてください。

A13 (具体例)

世帯の家族構成 父、母、高校生1人、中学生1人(4人世帯)

この世帯の家計急変前の家計状況は次のとおり。

父の令和2年分の給与収入	4,835,000円(市町村発行の所得証明書)
母の令和2年分の給与収入	3,980,000円(市町村発行の所得証明書)
世帯の合計収入	8,815,000円→生活保護基準の2.4倍以上

父がリストラにより、  
会社を解雇された場合

父の今後1年間の収入見込	0円(退職証明書(様式23号))
母の令和2年分の給与収入	3,980,000円(市町村発行の所得証明書)
世帯の合計収入	3,980,000円→生活保護基準の2.4倍以下

Q14 父親が昨年12月にリストラに遭い、同一生計の収入合計額が生活保護基準の2.4倍以下となりました。このような場合は緊急募集と在学募集のどちらで申込んだ方がいいのでしょうか？

A14 在学募集においても、前年の所得証明書に比して著しく家計収入の減少があり、そのことが証明できる書類の提出があれば、その世帯の合計収入の考え方は緊急募集と変わりありません。選考にあたってはどちらで申込んででも有利・不利はありませんが、申請が期日までに間に合うのであれば、在学募集で申込むようにしてください。

Q15 10月に単位制の高等学校へ入学しました。奨学金を借りたいのですが、申込みはできますか。

A15 5月以降の中途入学者は、緊急募集に申込むことができます。しかし、年度中途入学者でも県内からの転入学者については、緊急募集の対象外となりますのでご注意ください。

また、県外からの転入学者についても一家での転居ではなく、もともと保護者が福岡県内に生活の本拠を有している方で、生徒のみ県外の学校から転入してきた場合も、4月の在学募集に申請できるため緊急募集の対象外となります。

なお、過去に当財団の貸与を受けた期間は今回の貸与期間から除算されますのでご注意ください。

## VI その他

Q16 奨学生として採用された後、事情があって休学することになりました。奨学金の貸与はなるのでしょうか？

A16 休学・退学については、事実の発生した月の翌月(月の初日から事実の発生したものは、その月)から貸与を停止又は休止します。また、留年等により正規の修学期間を超えて修学したとしても、その超えた月分の奨学金の貸与は行いません。

なお、在学校より長期欠席の連絡があった場合にも、在学校と相談のうえ奨学金の貸与を一時休止することもあります。

Q17 奨学金貸与の願書を提出していたが、家計状況が好転したため、申込みを取り消したい。どのような手続きをとればよいのでしょうか？

A17 下記の書類を学校を通して当財団へ提出してください。

採用決定前・・・出願辞退届(様式20号)

採用決定後・・・辞退届(様式11号)

なお、奨学金貸与中であっても、家計状況の好転により奨学金が必要でなくなった場合にも、すみやかに「辞退届(様式10号)」を提出してください。

Q18 貸与月額を変更することは可能ですか？

A18 貸与月額を変更するためには、年1回、決められた期間内(4月～5月中旬)に「奨学金貸与月額変更届(様式16号)」を提出してください。なお、年度中途からの月額変更は原則としてできませんのでご注意ください。

Q19 申請の際に使用した書類は返してもらえますか？

A19 所得証明書を含む添付書類は、受付後の返却はできませんので、添付書類の返却を希望される方は、あらかじめ在学校の担当者に申し出たうえで、在学校長の原本証明書の写(コピー)を提出してください。



## 19 貸与願書チェックリスト

※ 願書を提出する前にチェックリストの項目について再度確認してください。

	チェック項目	確認
1	消せるボールペンや時間の経過により字が消えるボールペンで記入していませんか。	<input type="checkbox"/>
2	「申込者」欄は、生徒本人が記入していますか。 「署名」欄は、生徒と連帯保証人（親権者又は後見人）がそれぞれ自署されていますか。	<input type="checkbox"/>
3	「貸与月額選択」欄は、自宅通学、自宅外通学により希望する月額のA・B・Cのどれかに○囲いが付いていますか。	<input type="checkbox"/>
4	18歳以上の方の全員の市町村発行の所得証明書は添付されていますか。 (ただし、学生を除きます) ・無職・無収入の方も、年金だけの方も市町村発行の所得証明書が必要 ・無職の配偶者等で***や---等の表示の所得証明書は不可。申告済みの所得証明書が必要 ・源泉徴収票は不可 ・所得証明書等がコピーの場合、学校長の原本証明が必要	<input type="checkbox"/>
5	学校に在学の場合は、「備考」欄に学校名、学年が記入されていますか。	<input type="checkbox"/>
6	令和4年3月卒業の家族は、4月以降の状況が「備考」欄に記入されていますか。 ・卒業後就職 → 「令和4年3月高校卒業」(例)と記入 就職等申立書(様式21号)を添付 ・卒業後無職 → 「令和4年3月高校卒業 現在無職」(例)と記入	<input type="checkbox"/>
7	「世帯人員等集計」欄の人数は、「同一生計の家族状況」欄の人数と一致していますか。 また、障がい者の確認できる書類(障害者手帳または療育手帳の写し)は添付されていますか。 <u>※有効期限記載のもの</u>	<input type="checkbox"/>
8	「特に配慮してほしい家族の事情」がある場合、事情を確認できる書類が添付されていますか。 ・収入が減少した → 給与等支給(見込)証明書(様式22号) ・退職して現在無職 → 退職証明書(様式23号)等を添付 「備考」欄に「現在無職」と記入 ・退職して現在有職 → 就職等申立書(様式21号)	<input type="checkbox"/>

令和4年度 奨学金案内(在学募集、緊急募集)

# 各種様式

高校・高専・専修学校高等課程

高等学校等担当者用

- 様式11号 奨学金等辞退届
- 様式20号 奨学金出願辞退届
- 様式21号 就職等申立書
- 様式22号 給与等支給（見込）証明書
- 様式23号 退職証明書
- 様式24号 緊急募集に係る経費等内訳書

## 奨学金等辞退届

令和 年 月 日

奨学生番号 第 号

学校名 .....

氏名 .....

私は次のとおり奨学金等を辞退します。

1. 辞退事由 .....

2. 該当項目を○で囲んでください。

奨学金のみ辞退

支度金のみ辞退

奨学金、支度金ともに辞退

奨学生本人 〒 .....

住所: .....

電話: ( ) -

氏名: ..... 印

保護者 〒 .....

住所: .....

電話: ( ) -

氏名: ..... 印

公益財団法人福岡県教育文化奨学財団理事長 殿

上記のとおり辞退届ができましたので報告します。

令和 年 月 日

学校名

校長氏名

職印

(様式20号)

## 奨学金出願辞退届

令和 年 月 日

この度、令和4年度奨学金貸与願書を提出しましたが、下記の理由により出願を辞退しますのでお届けします。

### 記

1 該当する種別を○で囲んでください。

在学募集 ・ 緊急募集

2 辞退理由

-----  
-----  
-----

〒 .....

本人住所 .....

電話番号 (.....)

本人氏名 ..... 印

〒 .....

保護者住所.....

電話番号 (.....)

保護者氏名..... 印

公益財団法人福岡県教育文化奨学財団 理事長 殿

上記のとおり辞退届の提出がありましたので報告します。

令和 年 月 日

学 校 名

校長氏名

職印

学校記入欄	
学校コード	
学校受付番号	

# 就職等申立書

令和 年 月 日

公益財団法人福岡県教育文化奨学財団理事長 殿

氏名

印

この度、下記のとおり収入を得ることになりましたので申し立てます。

## 記

1 今後1年間の収入見込額 年額.....円

2 雇用開始年月日 令和 年 月 日

3 その他

上記のとおり証明する。

事業所名.....

事業主名.....



社印または代表者印

# 給与等支給（見込）証明書

公益財団法人福岡県教育文化奨学財団理事長 殿

給与等の種別(給与、賃金、報酬)  
給与の支給を受けた方

氏名 ..... 印

上記の者に対する令和 年 月以降1年間の給与等の支払(見込を含む)は、下記のとおりです。

雇用年月日 令和 年 月 日

支給月	支給額	支給月	支給額
令和 年 月		令和 年 月	
令和 年 月		令和 年 月	
令和 年 月		令和 年 月	
令和 年 月		令和 年 月	
令和 年 月		令和 年 月	
令和 年 月		令和 年 月	
令和 年 月		合 計	

(注) 通勤手当を除く税込みの支給額(賞与等の諸手当を含む)を記入してください。

上記のとおり証明する。

令和 年 月 日

給与の支払者  
事業所名 .....

事業主名 .....



社印または代表社印

(様式23号)

## 退職証明書

氏名

.....

上記の者は、令和 年 月 日付けで当社を退職したことを  
証明します。

公益財団法人福岡県教育文化奨学財団理事長 殿

令和 年 月 日

給与の支払者

事業所名 .....

事業主名 .....



社印または代表社印

(様式24号)

## 緊急募集に係る経費等内訳書

令和 年 月 日

公益財団法人福岡県教育文化奨学財団理事長 殿

学校名 .....

生徒氏名 ..... 印

連帯保証人(親権者または後見人) ..... 印

令和 年 月 から長期療養・被災しています。経費等は次のとおりです。  
(単位：円)

年・月					月計
年 月					
年 月					
年 月					
年 月					
年 月					
年 月					
年 月					
年 月					
年 月					
年 月					
年 月					
年 月					
領収書計					
年間推算額					

(注1) 病気による長期療養の場合は、病院・医師の「領収書(6ヶ月以上)等」を添付して、年間所要額を推算してください。

(注2) 災害等については、罹災証明書、被害届等を添付し、被害総額を推算してください。

(注3) 所要額、被害額共に、保険金や損害賠償金その他これらに類するものにより補てんされる分や、第三者への賠償に係る経費は含まない